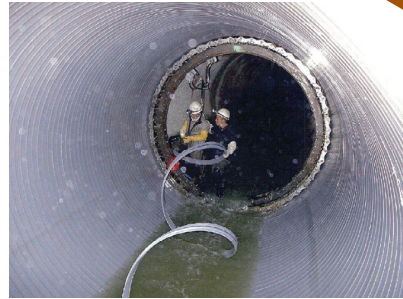


**日本SRP工法協会・関西支部**

**管渠更生工法**

NETIS:KT-990074, KT-050096

日本の下水道は普及率が70%を超え、管渠延長が40万Kmを超えています。その内の6万Kmはすでに30年を経過した陥没の危険性のある管渠です。そこで国は平成20年度には「下水道長寿命化支援事業」を、さらに今年度は「下水道総合地震対策事業」を創設し、計画的な改築を推進しています。私たち日本SRP工法協会は、この下水道や排水管などの老朽化した管渠施設を、社会活動への影響を最小限に抑えつつ蘇らせ、暮らしに大きく貢献する工法の普及活動を行っています。



担当部署 事務局

Tel 06-6949-9822 Fax 06-6949-9823

**SPR工法**

NETIS:KT-990074

ドラムに巻かれた硬質塩化ビニール製帯状の接合用嵌合部材(プロファイルという)を地上から製管機に送り込み、連続的に嵌合して既設管内に螺旋管(更生管という)を形成し、既設内空断面とほぼ相似の円形や矩形に製管する。さらに、既設管と更生管との間にSPR裏込め材を充填することにより、既設管きよと更生管が一体化した複合管を形成する工法である。

**施工実績570Kmを突破**

水を流しながら施工できる

どんな断面でも更生できる SPR工法

適用口径 φ200~9000mm

おかげさまで20周年

自由断面 SPR工法

円形 矩形 扇形

ハートSPR工法

3つの工程を1工程で施工

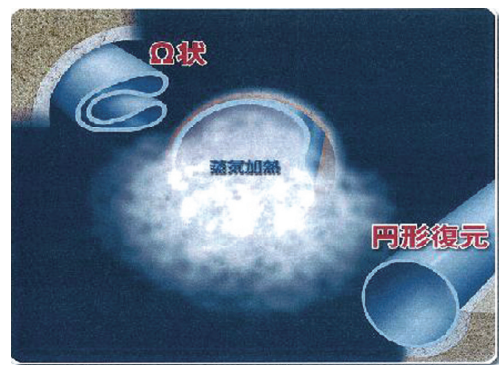
製管 支保工 裏込め注入工

既設管の修復

**オメガライナー工法**

NETIS:KT-050096

工場で断面をΩ型に折り畳んだ硬質塩化ビニール製パイプをドラムに巻き取り、現場に搬入する。更生する既設管の片側マンホールからパイプを供給し、もう一方のマンホールからウインチにて引き込む。パイプの引き込みが完了したらパイプを切断し、両管端に栓をして蒸気配管を接続する。その後ボイラー車より蒸気を供給しパイプを加熱する。パイプが円形に復元後、圧縮空気にて拡張し、既設管に圧着させたまま冷却して更生が完了する工法である。



**画像展開システム**

魚眼を超える190°の超広視界レンズ

直視走行させるだけで、管全周の状態把握がリアルタイムに! (適用口径φ200~700)

これからは、展開画像でTVカメラ調査が変わる!

**SEKISUI**

